

2 課外活動

(1)サークルへの加入

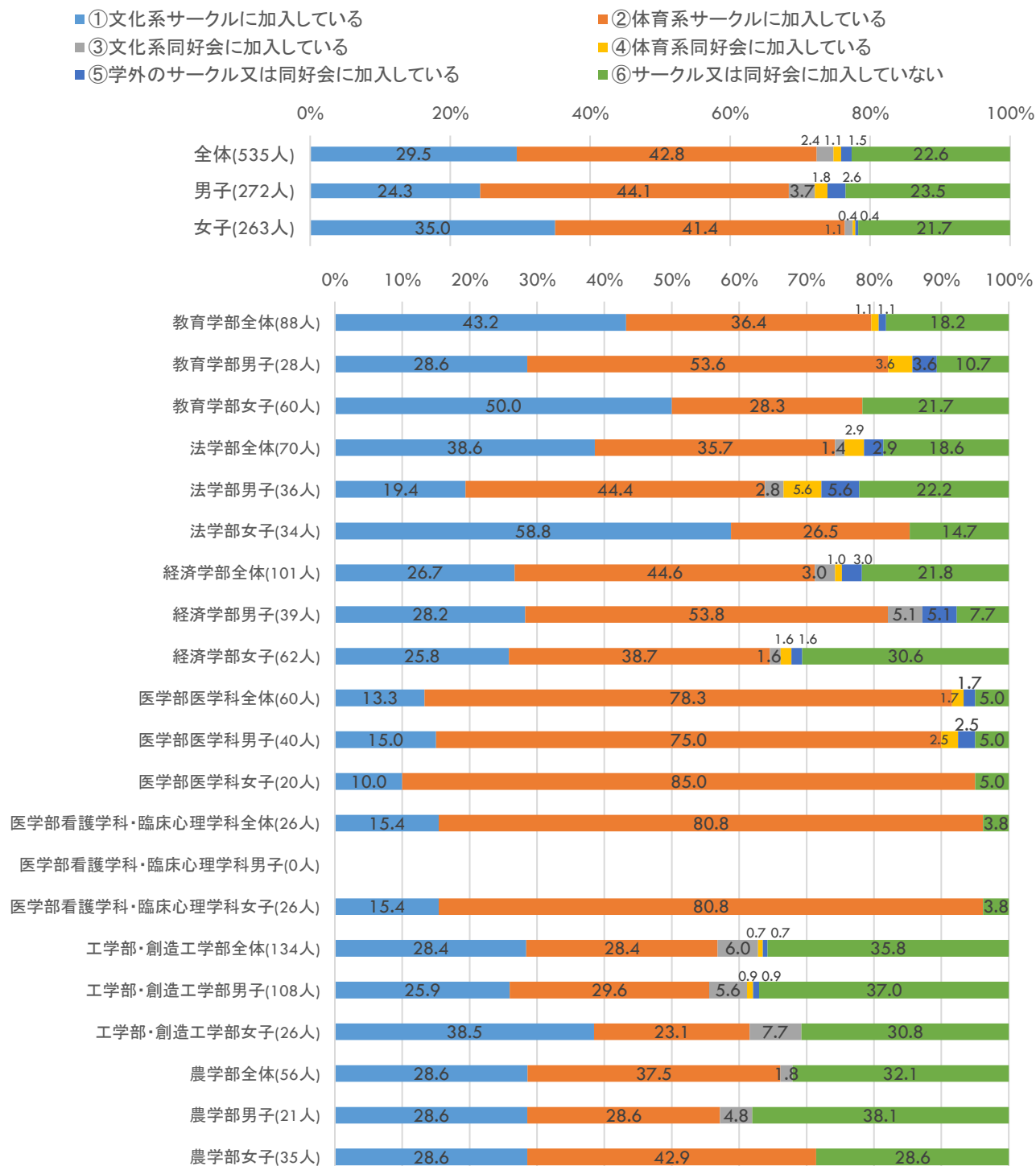
問29 あなたはサークル又は同好会に加入していますか。

・サークル活動への加入割合は、全体で、約77%の学生が何らかのサークル・同好会に加入しています。体育系サークルが42.8%、文化系サークルが29.5%を、明らかに体育系サークルの方に多くの学生が参加しています。

・性別による比較から、男子では体育系サークルに所属する学生が多い一方、女子では文化系・体育系サークルに所属する学生の割合が拮抗していることが分かります。

・また学部別のグラフからは医学部において体育系サークルへの参加割合の高さが顕著に窺えます。

・平成29年度調査との比較では体育系サークルに参加する学生が男子ではわずかに減少し、女子では逆にわずかに増加しています。また、男子では文化系同好会の割合が増加しています。



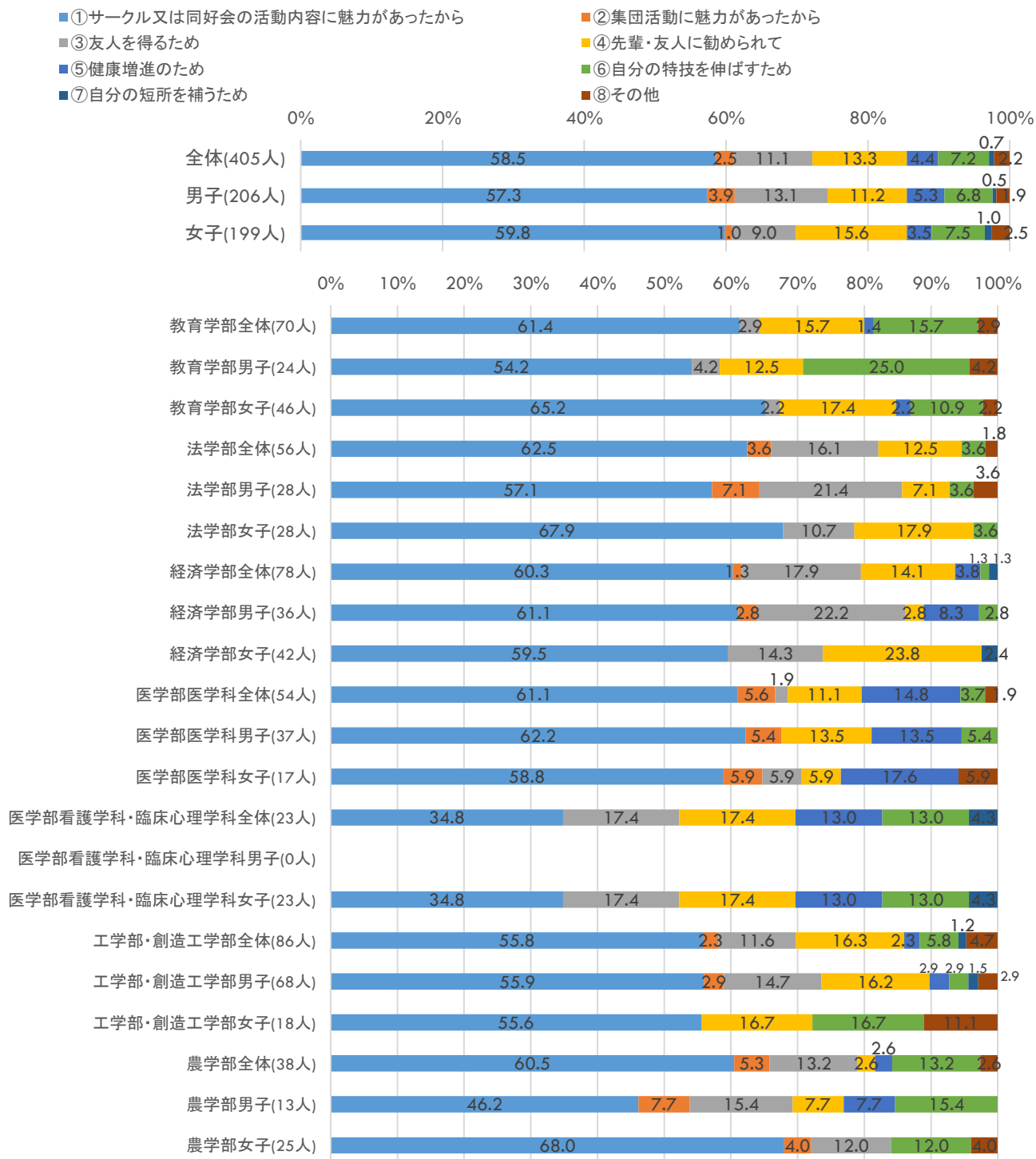
(2)サークル加入の動機

問30から問32まで、現在、サークル又は同好会に加入していると回答した方におたずねします。

問30 加入した動機は何ですか、次のうちから一つ選んで教えてください。

・サークル・同好会への参加動機は、活動内容への興味が半数以上を占め、次いで先輩・友人の推薦、友人を得るためといった理由が続いています。平成29年度と比べると先輩・友人から勧められてという項目が16.4%から13.3%に減っていますが、その減少傾向は特に男子で見られるようです。

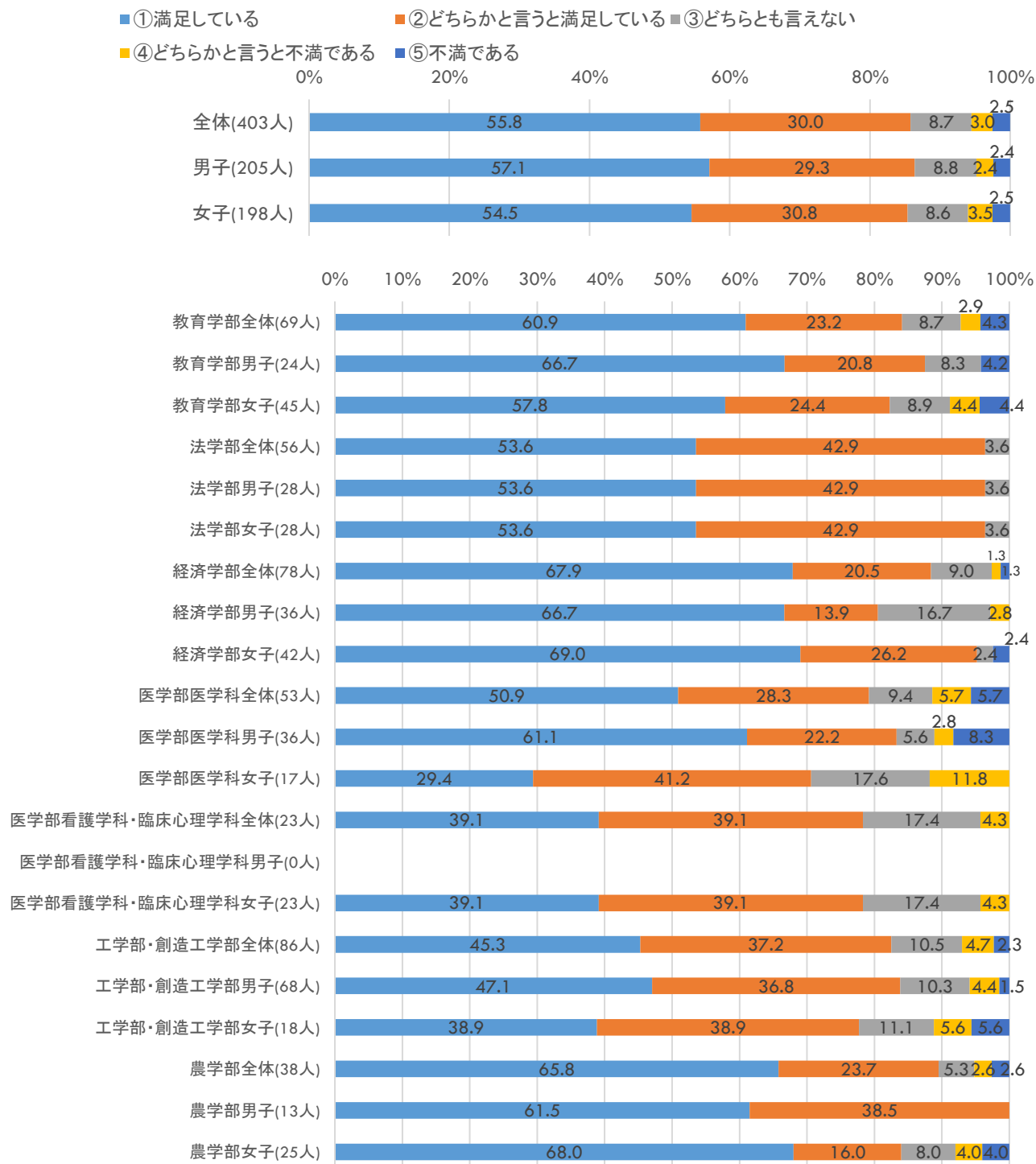
・医学部看護学科臨床心理学科は新たな学科でもあり、他の学部等とは異なり、女子学生だけの数値ですが、活動内容への魅力の割合が34.8%と低くなっています。



(3)サークルの感想

問31 サークル又は同好会に参加してどのような感想を持っていますか。

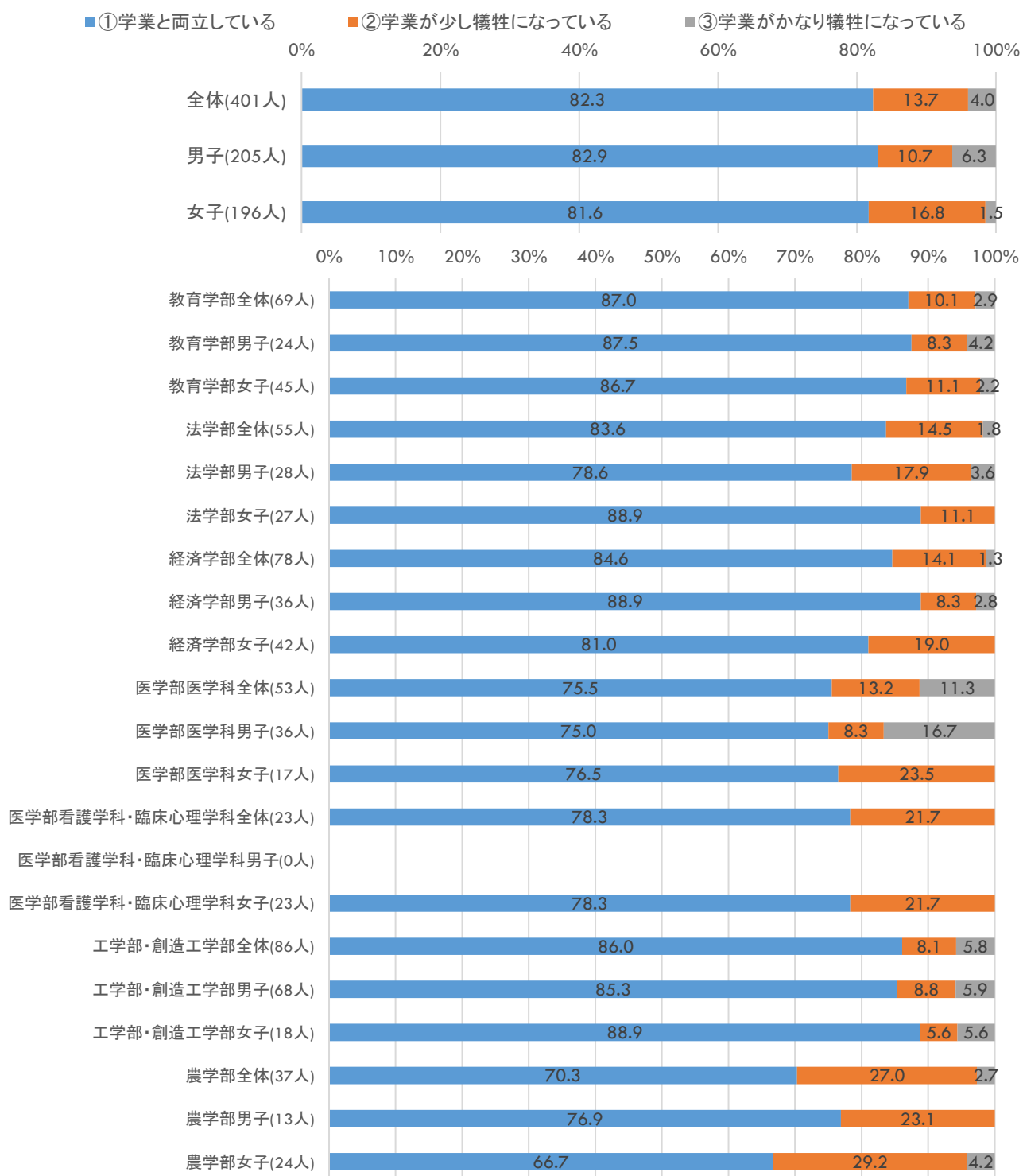
・「満足している」、「どちらかと言うと満足している」と回答した学生の割合が男女共に85%を越えており、サークル・同好会活動に対する満足感は総じて高いと言えます。
 ・学部間の結果に大きな差が見られ、医学部医学科の女子では、満足しているという数値は30%以下であり、どちらかと言うと満足を含めても、70.6%であり、このような傾向は医学部看護学科・臨床心理学科でも認められます。



(4) 学業との両立

問32 あなたはサークル又は同好会の活動と学業を両立していますか。

・全体の82.3%の学生がサークルと学業を両立していると回答していました。また、男女間の差異は大きくないように見えますが、学業が少し犠牲になっているという認識では、男子が10.7%、女子が16.8%であり、逆に犠牲になっているという結果の自覚は逆転しています。
 ・なお、学部間の差異では、学業が犠牲になっているという項目を見ると、医学部医学科の男子で、16.7%と他よりも高い数値を示しています。



(5)サークルに加入しない理由

問33 あなたがサークル又は同好会に加入していない理由は何ですか。

・全体のデータからは、魅力的なサークルがない、時間的余裕がない、個人の自由の束縛の順番で、サークル・同好会に加入しない理由の割合が高くなっていることが分かります。
 ・平成29年度との比較では、この3つの理由の順番は変化していますが、全体の70%を越えていることには変化はありません。
 ・なお、この項目については、回答数が極端に少ない学部もあり、各学部ごとのデータの比較はできないと思われま

